



学生実験を**安全**に行うために



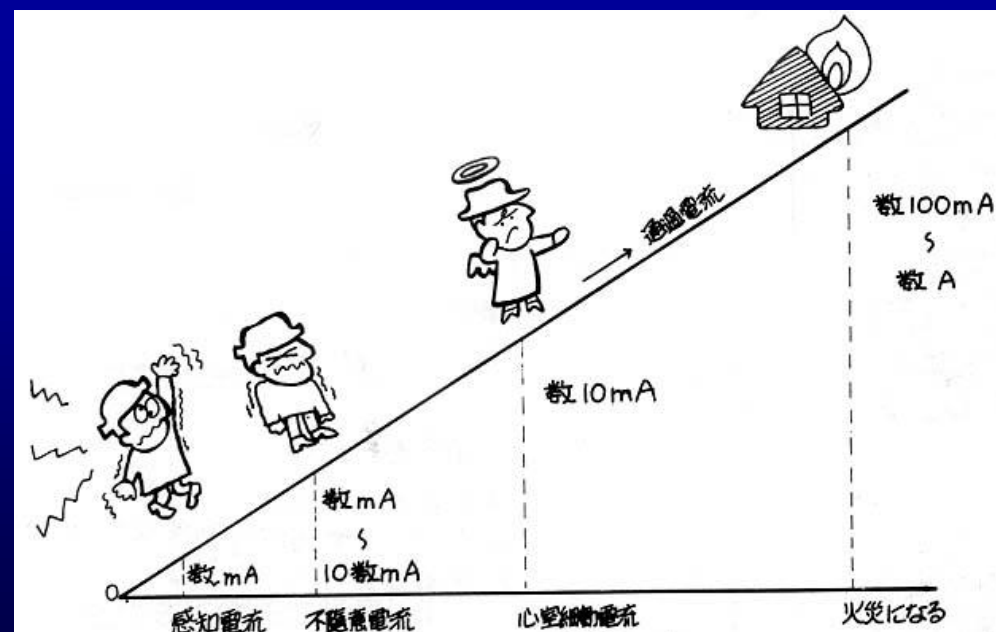
- テキストをよく読み実験全体をよく理解すること
- 正しい使用法を守る
- 実験室はきれいにして整理整頓
- 学生教育研究災害傷害保険の加入
(留年した方は加入期間に注意)



感電

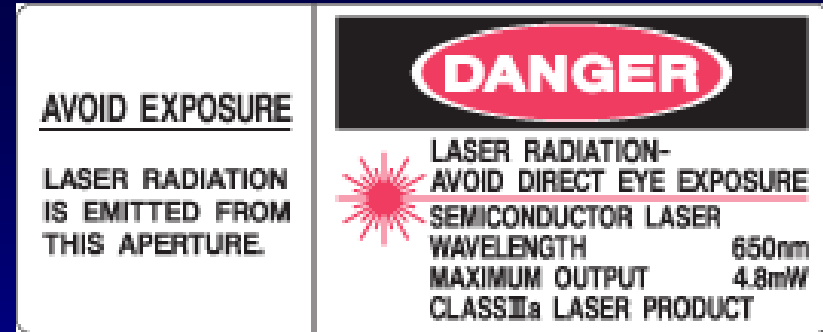


- 20mA で手が離れない
- 100mA で致命的





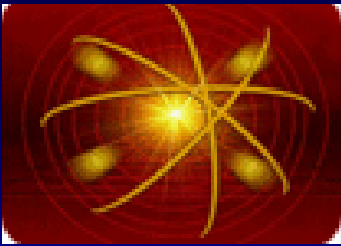
レーザー



- 目に入ると危険
～失明のおそれ



ゴーグル着用



放射線の安全取り扱い

放射性同位元素
使用室



- 放射線は五感に感じるできない
- 被ばくをしないように十分気をつけること

(原子核実験、X線)



寒剤の安全利用

- 酸欠による窒息
国内で事故による死亡例
- 低温による凍傷
- 膨張による爆発
飛散物によるケガ（人的）
実験装置の破損（物的）

どの実験テーマでも、
担当教官による注意を守り、
装置を正しく使用すること



実験室での飲食・喫煙は禁止



疲れたら適度な休憩を

- 集中力の低下は実験の誤動作や事故につながります
- 夜遅くまで実験を行わないこと

漏電／過熱→火災

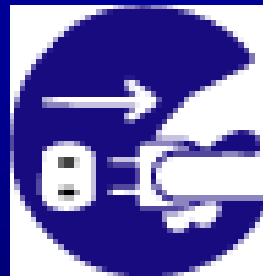
- 煙や匂いに敏感に



火気の安全な取り扱い



帰るときには装置のスイッチ、
電源”切”を確認



万が一、災害が発生したときには、すみやかに担当教官に連絡、指示をあおぐ

- 自分一人で対処しようとせず、すぐに知らせてください

これらの注意を守り、
物理学実験を十分に
楽しんでください

連絡先（メールアドレス）の登録のお願い

次の要領で教官から連絡できる連絡先（メールアドレス）を登録して下さい。

連絡先を変更したときは再登録をお願いします。

(レポートや出席などに関して、教官が連絡しなければいけないときだけ使用します。)

宛先：miyasaka@phys.sci.osaka-u.ac.jp

件名：物理学実験履修

本文：学籍番号、氏名